

人権教育部会 事例研修会 ～若槻小学校の取り組みを聞く～

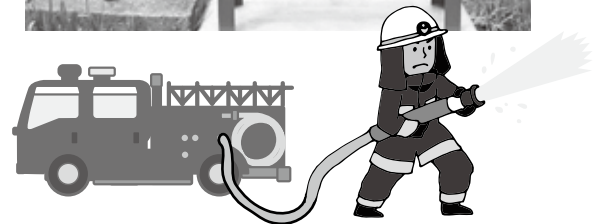
8月26日(土)に人権教育部会主催の「事例研修会」を行いました。今年度は若槻小学校の池田校長先生に講師をお願いして、「子どもたちの姿から見えてくること」の演題で、若槻小学校の子どもたちの様子、学校の取り組み等についてお話を聞きました。当日は学校でPTA行事が行われているお忙しい中お話をいただきましたが、映像資料も豊富で、日頃子どもたちが生き生きと学校生活を送っている様子、先生方の頑張りが伝わってきました。なお、平成31年度は若槻小学校130周年だそうです。



防災設備整備事業

コミわかでは、各区に設置されている劣化の進んだ消防設備を、新しいものに交換しました。宝くじの助成金を活用し、消防ホース格納箱19台、ホース78本を整備しました。

この機会に、近くの「消火栓」「ホース格納箱」の位置や使用方法を確認しておきましょう。



コミわか協力団体紹介③

～コミわか土曜朝市の会～

地元の新鮮農産物などを販売する「コミわか土曜朝市」を主催

ファミリーマート若槻大通り店（徳間）駐車場で7月初旬から12月上旬の奇数土曜日に開催される「コミわか土曜朝市」を主催しています。会員は、農産物などを出店する生産者会員（30名位）と、会場準備や販売などを担当するスタッフ会員（30名位）で、両方を担当する会員も何人かおられます。また部会やボランティア団体の方々にもご協力も頂いています。生産者会員は取れたての新鮮な地元産農産物などを軽トラで販売、または軽トラ販売しない生産者会員は商品を会場に持ち込み、販売を委託しています。会場内には「お茶のみコーナー」も常設され、スタッフ会員が対応しています。生産者会員は商品を売ることで収入があり、売上に応じた販売手数料からスタッフ会員に還元をすることで会を運営しています。

会員の募集

自分の畑で作った自慢の農産物を売ってみませんか？ 軽トラで自分で販売するもよし、余った野菜をおすそ分け気分で委託販売するもよしです。ナスやトマトなどを1袋、2袋といった単位で委託販売する生産者会員もおります。豆腐や味噌、お菓子などを生産する地元業者も参加しています。7月には梅がたくさん取れたからと持ち込む方、俺はブドウしか出さない、米しか出さないと言って時期になると持ち込む方もいます。若槻でとれた新鮮で安価なものを若槻の人に食べてほしいとの思いで始めた朝市です。生産者会員、スタッフ会員、いずれへの参加も歓迎します。

問い合わせ先 コミわか土曜朝市の会 266-0034（コミわか事務局）